

3月の園だより

学校法人志賀学園
平第二幼稚園
平成30年3月1日

この時期は三寒四温とありますが、寒さの中にも春の訪れを感じる候となりました。

3月3日はひな祭り。女の子の成長と幸せを願い祝う行事です。幼稚園では、ひな祭り会で行事の由来のお話しやお製作をしたり、さくら組では桜餅作りをしてお祝いします。

また、3月21日は春分の日です。昼と夜の長さがほぼ同じになる春分の日を中心に、前後3日間ずつを合わせた7日間を「春の彼岸」といいます。彼岸とは、仏教の言葉で「この世を離れて仏の世界に行く」という意味です。昔から、仏教の世界では「西の方角に極楽浄土がある」と考えられ、太陽が真西に沈む春分の時期は、亡くなった先祖をしのび、感謝の思いをささげるのに最も良い時とされています。お彼岸にはお子さんを連れて、おじい様・おばあ様を訪ね、日頃の無事を感謝しお墓参りをしましょう。

幼稚園では、志賀文岳前理事長先生がお空の上で見守ってくれているからと、事あるごとに職員室の前理事長先生の写真に、手を合わせに来るさくら組のお友だちがいます。常日頃から心の中に感謝の気持ちを持てることも大切ですね。

さて、先日のわくわくキッズコンサートは、たくさんのご家族の皆様においでいただきまして、ありがとうございました。

それにしても、子どもたちの歌や合奏は素晴らしかったですね！！

ステージに泣かずに立っていることだけでも感動のもも組さんが「♪手をたたきましょう。タンタンタン、タンタンタン♪」と拍子を合わせカスタネットやタンバリン、鈴を打つしぐさが何とも言えず可愛らしかったです。ばら組さんは、好きな打楽器を鳴らしたり、遊び感覚で鍵盤ハーモニカに触れているうちに、かっこうやみつばちマーチが弾けるようになり、無理せず発表につなげていくことができました。英語の歌や色もよく覚えましたね。

すみれ組さんは、懐かしい童謡「春が来た」「めだかの学校」の日本の美しい歌詞を丁寧に覚えました。鍵盤ハーモニカも一人ひとりの指がきちんと動き、かえるの歌やきらきら星をほとんどのお子さんが弾けるようになりました。

さくら組の合奏、「みかんの花咲く丘」「レイダースマーチ」は感動の一言に尽きます。これまでの、生活や遊び、行事などで培ってきたお友だちとの絆で、心をひとつにして演奏できましたね。楽器の演奏に真剣に取り組む子ども一人ひとりの姿に成長を感じられ、ただただ感動しました。

これらの経験が、今後の子どもたちの自信につながっていくものと確信しております。

子どもたちはこの一年間、友だちとの関わりや生活、行事を通し、たくさん的事を経験し

大きく成長して参りました。まもなく、卒園、進級の時を迎えますが、残り少ない日々を大切にしながら、一年の締めくくりをし、進級や進学への自信と期待を膨らませていきたいと思いをします。

この一年間、保護者の皆様には、あたたかいご理解とご協力を頂きましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。